

# 農作物・家畜に関する安全心得

夏の大会を楽しくフライトするためにエリア内の農作物・家畜や農作業等に関することをお知らせします。

今夏のフライトエリア内における諸状況は、概ね順調な生育状況となっております。

**小麦については、既に収穫率100%と収穫作業を終えている状況であり、ほとんどの収穫後の畑では、畑起こしが終わり、緑肥が播種されている状況にあります。例年と上空からの装いが異なりますので、ご注意ください。**

**また、草地の更新後の畑があり、小麦収穫後の畑と見間違える可能性があるため、必ず小麦位置図やPZを確認のうえ、離着陸をお願いします。**

**小麦以外の作物については、秋の収穫までの生育管理として重要な時期が続いておりますので、農家の方々への十分な配慮をお願いします。（マーカーを回収する際に畑に入る場合も挨拶をお願いします。）**

※過去につぎのような事例があります。農地を利用できなくなると大会が開催できなくなるのは勿論のこと、地元や十勝のグループのフライトにも支障がでますので、注意して下さい。

○畑にゴミを捨てていった。

○ランディングの際に作物に被害を与えても黙って帰った。

○農地へ無断で車両を乗り入れた。

## ジャガイモシストセンチュウ対策にご協力を！

すでにインフォメーション等で周知しておりますが、平成15年8月に本町において十勝管内初となる、ジャガイモシストセンチュウ（害虫）の発生が確認されました。

シストセンチュウ発生の畑においては、イモの発育阻害や生育不良となり、生産が減ってしまいます。シストセンチュウは主に発生圃場の土壌とともに移動し、土の中で10年以上も生き続けることが可能で、一度発生した畑では根絶することはほとんど困難であると言われています。

**この害虫が蔓延してしまうと、本町の農業だけではなく、ジャガイモの産地である十勝管内全域にダメージを与えてしまうことになります。**

このことにより、本町は勿論のこと、十勝管内においても対策本部が設置され、日頃より洗浄等の防疫徹底がなされているところであります。

農家の方々には、畑あるいは耕作道路の侵入については敏感となっておりますので、むやみに畑に入ることをないよう、ご注意願います。

●農地への立ち入りについては、必ず地主または耕作者の方の承諾を得て下さい！

●農地へ立ち入る際には、必ずオーバーブーツを履き、土の移動がないよう心掛けて下さい！

●車両及びゴンドラ等に付着した土も洗浄し、土の移動がないようにして下さい！

●車両洗浄機の使用について・・・ジャガイモシストセンチュウ等防疫体制を強化するため、フライト後に車両洗浄機をご利用ください。

別紙の位置図参照

### ■着陸禁止区域の設定

PZ以外に、ジャガイモシストセンチュウ発生圃場及び作物種子として特殊なジャガイモを栽培している区域を着陸禁止として設定しております。

※競技地図に記載済み 「ジャガイモ環境保全地域」

**この区域は、危険回避以外、ランディング厳禁です！**

### <万が一着陸した場合>

●至急、大会運営本部へ連絡を！

連絡先 TEL 01564-2-3309

●指示があるまで、現場を離れないこと。

決して土の移動がないように！

## その他 注意事項！

- 《小麦》 収穫後の小麦畑はバーナー燃焼時にワラに延焼するので、消化器などを用意し、火災対策をお願いします。
- 《牧草》 1番牧草の収穫は6月から7月にかけて行われ、今後、2番牧草の収穫を迎えようとしている牧草地がほとんどです。このことから、収穫間近の牧草地（草丈30cm以上）には安全回避以外、ランディングしないようにお願いします。
- 《牛》 ホルスタイン種（白黒）が主ですが、近年肉用の和牛（黒褐色）を飼う農家が増えています。多頭化による規模の大型化が進み、各戸100頭以上の牛が飼われています。搾乳牛と育成牛が半々の割合でいます。酪農家は、今日の経済事情からミルクをたくさん搾るために最大細心の管理努力をしています。  
土幌町方面は肉用牛（ホル種）の大規模農家が散在しています。牛は群行動をする性格上、暴走し易く近づくと非常に危険です。また、伝染病など農家では予防対策を行っておりますので、絶対に家畜舎に入らないよう注意して下さい。
- 《馬》 少頭数ではありますが飼育されています。特に愛着を持って大事に育てています。気球にはとにかく慣れない家畜です。大型のものは約1トン位あり、道産子（在来種）やポニー等は小型です。  
また、ある程度距離があっても馬の視界の中でのランディングは暴走の原因となりますので注意して下さい。（過去の大会で数回事故発生）